

## 学校臨床心理専攻

### ●専攻の教育理念と教育目的

本課程は、学校臨床学コースと臨床心理学コースから成ります。それぞれ学士課程で培った資質能力を基礎とし、学校臨床及び臨床心理にかかる高度な実践力をもち、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献する専門的職業人の育成を使命としています。そのため、学生は、学校臨床及び臨床心理に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を意識しつつ、高度な専門的知識を習得し、それをもとに学校臨床及び臨床心理をめぐる現代的諸課題への対応方を適切に考え、教育にかかわる高い技能と豊かな表現力をもってそれを実践する力を培います。

### ●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

<態度>

1. 高度な実践能力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献することができる。

<関心・意欲>

2. 学校臨床及び臨床心理に関連する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究することができる。(関心・意欲)

<知識・理解>

3. 学校臨床及び臨床心理に関連する諸科学に関して高度な専門的知識を習得している。

<思考・判断>

4. 学校臨床及び臨床心理に関連する現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考えることができる。

<技能・表現>

5. 高い技能と豊かな表現力を身につけ、高度な実践能力をもって学校臨床及び臨床心理に関連する活動に取り組むことができる。

### ●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

学校臨床心理専攻は、学校臨床学コースと臨床心理学コースをもちます。学校臨床学コースは、学校臨床に関わる多様な問題を理論的に解明するとともに、これらの問題を解決するための臨床的実践力を培うことを目的としています。現職教員、将来教員になることを目指す人、あるいは、学校臨床に関わる場において専門的力を発揮したいと考えている人を求めています。

臨床心理学コースは、今日、家庭、学校、職場など様々な領域で増大しているコミュニティー・人間関係・個人の諸問題について、臨床心理学の立場から、その要因やメカニズムを理論的に明らかにし、支援実践力を培うことを目的としています。援助を必要とする人々の心の

世界とそれを取り巻く社会的状況に関与し、将来、「こころ」の専門家である臨床心理士になることを目指して学ぼうとする人を求めています。

●**専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)**

**カリキュラムの概要**

学校臨床学コースでは、人間形成と文化、生徒指導論、心理統計、学校コミュニティ論に関する科目、臨床心理学コースでは、臨床事例を取り上げつつ、適応と支援、心理療法、精神保健、ブリーフセラピーに関する科目を履修します。これらで培った研究関心は、「課題研究」を通して修士論文に結実させます。